

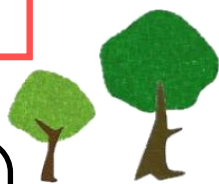
〈精神に障害のある方の気軽な相談場所・交流の場〉



地域生活支援センターあさやけ通信

「風」

社会福祉法人 ときわ会 地域生活支援センター あさやけ



12月号

TEL (相談用)
FAX
E-mail
ホームページ

〒187-0031 小平市小川東町 4-2-1 小平元気村おがわ東 1階

042-345-1741 (事務用) 042-345-2077

042-345-1734

kaze1741@asayake.or.jp

http://www.asayake.or.jp/center_asayake.html

精神科病院「身体拘束ゼロ」の取り組み ～地域に開かれた病院を目指す～

精神科病院での身体拘束をめぐる議論が、専門家からの間で活発化している。

2017年5月、神奈川県精神科病院でニュージーランド国籍の男性(当時27歳)が10日間にわたる身体拘束を受けた後に心肺停止になり、搬送先の病院で亡くなったことをきっかけに、大学教授らが問題としてきた。身体拘束の連続実施日数について2015年に11病院を調査したところ、平均は96.2日で、中央値は19日だった。最も長い病院では1096日とおよそ2年半以上も身体拘束された状態で入院をしていたことになる。とても驚きである。

10月18日の東京新聞の記事にある、「拘束ゼロ」で患者に寄り添う という見出しが目にとまった。世田谷区にある精神科松沢病院の院長の話である。

病院は今年創立140年を迎え、呉秀三院長から100年が経つ。未だ社会に精神疾患への偏見や差別は残るが、医療現場は変わりつつある。同病院に緊急入院をした患者の身体拘束は、2012年は66%だったが、2016年は2%に激減した。2012年に院長に就任し「身体拘束ゼロ」を掲げた院長は、「人をたたいてはいけないのと同じ。人を縛っちゃいけない」とさりりと言う。

院長就任後、30年前に同病院で働いていたころ担当していた女性患者に再会した。「先生がいた時と同じベッドに寝ています。」と案内されると、ベッドに拘束具があった。女性は「転んじゃったから私が悪いんです」と申し訳なさそうに言った。なぜ、患者が言い訳しなくちゃいけないんだ。拘束帯に腹が立ち申し訳なく思った。「拘束しなければ転倒が増える」と渋る看護師らに、拘束するならモニターで見るとはならず、そばに座れ。患者さんに悪口、雑言、つばを吐かれても正しいと思うなら縛れば良い。動揺するならやめたほうが良い と伝えた。すると、あっという間に拘束が減った。本当はみんな縛りたくなかったのだと思う。

拘束による入院トラウマがなくなれば、患者も症状が悪化する前に「松沢病院に行こう」と思える。「困ったら松沢病院がある」と思えることで、地域で暮らしやすくなる。それが地域の精神科病院の役割だ。身体拘束ゼロの次の試みは病棟を地域に開くこと。

患者が退院するのに最大の抵抗勢力は地域だからだ。 と院長は話す。

支援センター活動報告

KODAIRA わいわいバザール

10月14日に、小平市特別支援学校をお借りしてバザールを開催しました。今年は台風の影響で1日のみの開催となってしまいましたが、当日はたくさんの来場者で賑わいました。

支援センターでは射的とヨーヨー釣りを販売し、メンバーのお手伝いのおかげで大盛況でした。

来場したメンバーは好みのものを買ったり、おいしいものを食べ比べたりとバザールを楽しめて満足そうでした。

バザールと元気村まつりの売り上げ 10,900 円は、クリスマス会で使用させていただきます。



元気村まつり

10月27日は爽やかな秋晴れで、お祭り日和となりました。今年の支援センターのお店は、フランクフルト・射的・ヨーヨー釣り・と盛りだくさんで、27,150 円の売り上げがありました。来場者が多く、どのイベントもたくさんの方が参加してくれました。

今年はメンバー主催のイベントは行いませんでしたが、今後はメンバーの特技を活かした発表の場を設けていきたいと考えています。



支援センターのお知らせ

※通信11月号に訂正があります※

①11/16 (土)

“サタデーひだまり” あります。

②11/23 (土)

祝日ですが、支援センターは開所します。

10月メンバー学習会報告

10月31日(木)のメンバー学習会は、東村山市にある作業所「セサミ菽」の職員さんにお越しいただき、作業所の紹介をしていただきました。後半は、実際に作業所でおこなっている封筒折りの体験をし、参加したメンバーがみんな夢中になっていました。

～セサミ菽についてご紹介～

●作業内容

- ・店舗の仕事 生花、鉢植えの販売と手入れ等
- ・下請け作業 封筒作り

●行事・レクリエーション

誕生日会、バスハイク、花見、防災訓練、夏祭り参加等

●工賃および費用

工賃は日給制で、昼食代は自己負担。
お茶菓子代を毎月徴収しています。

クリスマス会のお知らせ



日 時：12月24日(火) 午後2時～4時
 場 所：支援センターあさやけ交流室
 参加費：無料
 内 容：11月メンバー学習会にて決めます。
 申 込：12月1日から電話と交流室掲示にて申込みを受け付けます。

交流室の大掃除



日 時：①12月19日(木) 午後1時半～2時半
 ②12月26日(木) 午後1時半～2時半
 ※26日(木)は、大掃除後に風の会のみ行います。
今年もみなさんが利用した交流室をピカピカにして新年を迎えましょう!
 たくさんの方のご協力よろしくお願ひします!

多摩六都フェア「パラアート展覧会」と作品募集のお知らせ

●展覧会のお知らせ

日にち：1/14(火)～1/19(日)
 場 所：小平市立中央公民館ギャラリー
 主 催：多摩北部都市広域行政圏域講義会・西東京市
 ＊他市での展覧会も予定しています。

●作品応募について

・募集作品は絵画で、テーマは「この街と生きる！」
 ・1人1作品。タテヨコの辺の長さの合計220cm以内。
 ・募集応募用紙に必要事項を記入の上、11月29日(金)まで「就労支援センター一歩」(西東京市)に提出。

＊あさやけで作品のとりまとめはしません。個人での申し込み・持ち込みになります。応募の詳細や申込用紙が欲しい方はあさやけのスタッフにお尋ねください。



年末年始の開所と新年会について

【年末年始の開所】

12月29日～1月5日までは元気村が休館となるため、支援センターも閉所となり、電話相談もお休みです。

下記の日程のみ、あさやけ第二作業所2階での開所となります。1月1日は新年会をおこなう予定です。

【新年会】

定員30名(登録者のみ)、参加費500円、12月1日から電話と交流室内掲示板にて参加受付を開始します。

詳しくは次号にてお知らせします。

開所日時：12月31日(火) 正午～午後3時

1月1日(水) 正午～午後3時

※当日はあさやけ第二作業所の電話も繋がりません。



地域のお知らせ

絵画展&ギャラリートークのお知らせ

- ・ぷるすあるは「チアキ」絵画展
 日 時：12月18日(水)～12月22日(日)
 10:00～18:00
- ・ぷるすあるは絵本朗読会
 日 時：12月21日(土) ①11:00 ②16:30
 (各回約30分・定員40名・先着順)
- ・ぷるすあるはギャラリートーク
 日 時：12月22日(日)
 13:30～15:00(定員40名・先着順)
 託児あり(※申込はあさやけ第二作業所へ)

【会場】

小平市民文化会館・ルネこだいら 展示室

【サテライト会場】

CAZE CAFÉ なかまち

入場無料

第14回ぴゅああーと展が開催されます

展示期間：2月19日(水) 午後4時～ 開催
 2月20日(木) 午前10時～午後5時
 2月21日(金) 午前10時～午後5時
 会 場：東久留米市 市民プラザホール・屋内ひろば
 (東久留米市役所1階)

作品の応募方法について

- ①オリジナルのもの。
- ②未発表の作品(学校・作業所・地域の展覧会で発表したものは可)。
- ③1人(1組)1作品まで。
- ④額装はしないでください。

入場無料

受付期間：11月11日(月)～11月25日(月)

選 考：12月5日(木)

★出品される方は、11月23日(土)までに支援センターあさやけにお持ちください。(支援センターあさやけ登録者に限りま



第23回 精神保健福祉を考えるつどい 「みんなで取り組もう こころとからだの健康づくり」

第1部 講師 国立精神・神経医療研究センター病院
 作業療法士 森田 三佳子氏
 講義「健康についていまどきの考え方のポイント」
 実践「からだをほぐしてリラックスしよう」

- 第2部
- ★「私の健康法自慢」
 - ★「天野さんの健康O×クイズ」
 - ★「5分でできる体操」

日 時：11月30日(土)
 午後1時～4時(12:30開場)

会 場：中央公民館 ホール(小平市小川町2-1325)

問 合：第23回精神保健福祉を考えるつどい
 実行委員長 櫻田(plans内)

参加費無料



地域生活支援センターあさやけ

<開所時間> <相談> / <交流室>
 月～金 午前10時～6時 / 12時～6時
 土 午後12時～午後6時
 日・祝日 閉所



2019年

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3 ㊦今日の料理 ひるごはん	4	5	6	7	8
9	10	11 女性のための ・・・書道	12 SST	13	14	15
16 ㊦カレータ食会 *11/18～予約 を受け付けます。	17 ㊦今日の料理 ゆうごはん	18 ㊦女子会	19 大掃除	20	21 サタデー ひだまり	22
23	24 ㊦クリスマス会	25 女性のための ・・・書道	26 大掃除 風の会	27	28	29
30 閉所日	31 あさやけ第二作業所2階で 開所します。詳細は2面へ。	1/1	1/2 閉所日	1/3 閉所日	1/4 閉所日 	1/5 閉所日

プログラム ㊦マークのものは事前予約が必要です。

<通常プログラム>

- 風の会&メンバー学習会 ・3時 ～ 4時
- 女性のための書道 ・10時半～12時
- 女子会 ・10時半～12時
- ピアサポート～なかま会～ ・3時 ～ 4時
- SST ・4時半～5時半
- 今日の料理 ひるごはん ・10時半～12時半
- ゆうごはん ・3時半～5時半
- カレータ食会 ・5時 ～ 6時

- センターの活動報告、テーマごとの学習・ミーティング。
参加費 50 円。書道とお茶会。女性メンバーが集う場。
- ㊦ガールズトークが楽しめる茶話会。参加費 100 円
テーマに沿って、なかま同士が気持ちや体験を語る場。
みんなでゲームをしたり、困ったことを話し合えるプログラム。
- ㊦参加費 300 円。調理・片づけの自炊の練習。
- ㊦参加費 300 円。手作りカレーをみんなで食べる会。

<家族グループ・市民活動>

- サタデーひだまり ・1時半～4時
- けやき会家族相談会 ・1時半～

元気村2階第二会議室。一杯 100 円で飲み物にお菓子も付きます。
家族のための相談・学習の場。